

おおいずみ



議会だより

No. 78

2017.10.25

発行／大泉町議会
編集／議会広報
編集委員会



主な内容

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 平成 28 年度 一般特別 会計決算認定、総括質疑 | P 2 ~ |
| 議案賛否一覧表 | P 4 |
| 町政を問う 一般質問 | P 5 ~ |
| 決算調査 | P 8 ~ |
| 議会トピックス・編集後記 | P 12 |

平成 28 年度

一般・特別会計決算を認定！

9
月
定
例
会

大泉町は平成 28 年度も普通地方交付税不交付団体となりました！

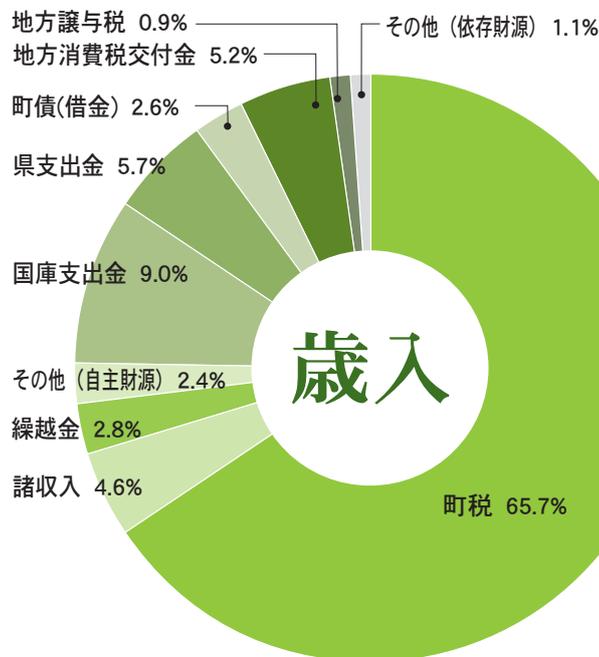
平成 29 年第 4 回定例会は 9 月 5 日（火）～ 21 日（木）までの 17 日間の日程で開催され、平成 28 年度の一般会計と特別会計の決算認定を含む議案 19 件、諮問 1 件について慎重審議し原案のとおり可決しました！

一般質問には、5 人の議員が登壇し、子どもの居場所づくり、通学路の防犯、ドローンを使った災害対策、冠水対策、財政運営の現状について質問しました。

平成 28 年度 一般会計

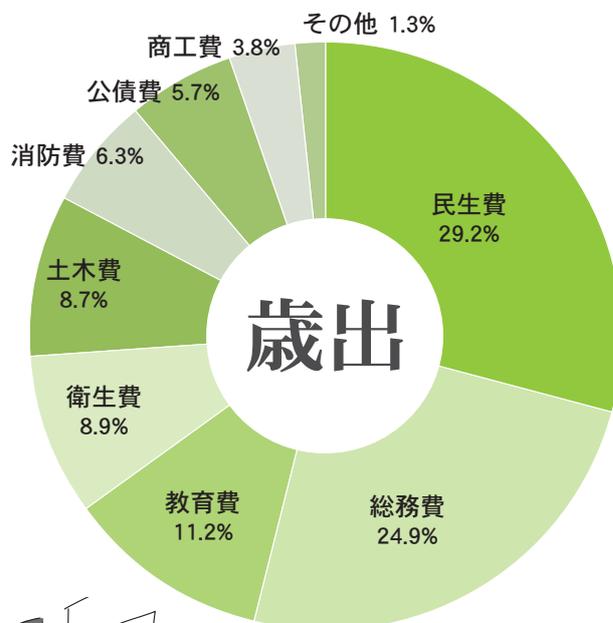
145 億 1691 万円

対前年度比：約 4 億 7 千万円減



140 億 4053 万円

対前年度比：約 5 億 5 千万円減



大規模な公共事業が終了した事により借入金が減りました。



子育て支援施設や特別養護老人ホームなど福祉向上を重点的に行いました。

歳入歳出決算総括表

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額	
一般会計	144億 6856万円	145億 1691万円	140億 4053万円	4億 7638万円	
特別会計	83億 3495万円	80億 7131万円	78億 6486万円	2億 645万円	
会計別	国民健康保険事業	49億 500万円	46億 9922万円	46億 585万円	9337万円
	後期高齢者医療事業	3億 2026万円	3億 1833万円	3億 1598万円	235万円
	介護保険事業	23億 4005万円	22億 7995万円	21億 9624万円	8371万円
	公園墓地事業	1638万円	1729万円	1486万円	243万円
	下水道事業	7億 5326万円	7億 5652万円	7億 3193万円	2459万円
総計	228億 351万円	225億 8822万円	219億 539万円	6億 8283万円	

※平成28年度より水道事業は群馬東部水道企業団へ移行

一般会計 内訳

項目	平成28年度	平成27年度	対前年比額	対前年比率	
歳入総額	145億 1691万円	149億 9043万円	△4億 7352万円	96.8%	
内訳	自主財源	109億 6169万円	100億 1488万円	9億 4681万円	109.5%
	依存財源	35億 5522万円	49億 7555万円	△14億 2033万円	71.5%
内訳					
歳入	町税	95億 4533万円	88億 2772万円	7億 1761万円	108.1%
	国庫支出金	13億 545万円	14億 2878万円	△1億 2333万円	91.4%
	県支出金	8億 3057万円	7億 9830万円	3227万円	104.0%
	町債(借金)	3億 7490万円	15億 4540万円	△11億 7050万円	24.3%
	地方消費税交付金	7億 6358万円	8億 6716万円	△1億 358万円	88.1%
	繰越金	4億 171万円	1億 4925万円	2億 5246万円	269.2%
	貸付金元利収入	2億 6718万円	3億 1950万円	△5232万円	83.6%
	地方交付税	5859万円	8402万円	△2543万円	69.7%
	その他	9億 6960万円	9億 7030万円	△70万円	99.9%
	歳出総額	140億 4053万円	145億 8872万円	△5億 4819万円	96.2%
歳出	民生費	40億 9553万円	38億 8908万円	2億 645万円	105.3%
	総務費	35億 227万円	19億 2948万円	15億 7279万円	181.5%
	(内、基金積立金)	(20億 5546万円)	(2億 9290万円)	(17億 6256万円)	701.8%
	教育費	15億 7049万円	30億 80万円	△14億 3031万円	52.3%
	衛生費	12億 5513万円	12億 9027万円	△3514万円	97.3%
	土木費	12億 1820万円	10億 6303万円	1億 5517万円	114.6%
	公債費	7億 9700万円	7億 8111万円	1589万円	102.0%
	消費費	8億 8008万円	13億 1177万円	△4億 3169万円	67.1%
	商工費	5億 2863万円	5億 8316万円	△5453万円	90.6%
	その他	1億 9320万円	7億 4002万円	△5億 4682万円	26.1%

総括質疑【一般会計決算】

Q

質問者 渡邊 明議員

就任1期目の総仕上げの予算執行結果は？

①平成28年度一般会計決算は、町長就任4年目の予算執行の結果であります。執行責任者の自己評価についてお聞きします

②決算調査で議員から出された246件の質疑の中で、もっと力を入れて欲しかった事業や各種委託料、手数料の見直しを検討し、また経費節約に努めて欲しいとの指摘や提言が数多くあり、今後の行政運営に反映していただきたいと思えます

A

答弁者 町 長

トップセールスにて種をまいて、収穫できた年！

①トップセールスの中で企業が来やすいように、畑を耕し、種をまき、実がなって収穫ができた年になったと考えています

②今後もしっかりと皆さんの意見や要望を聞いて、改善すべき点は改善していきます。住民福祉の向上に努め、同時にすばらしい行財政運営ができるように努力していきます

町政を問う



Q 学校教育の充実と子どもの居場所づくりを
A 早期実現に向け検討します



渡邊 明 議員

- ① 認定子ども園と幼稚園の保育料の無料化を
- ② 教職員の資質向上を
- ③ 実生活の中で活かされる道徳教育を
- ④ 子どもたちに希望が持てる学校給食を
- ⑤ いじめゼロを目指して、いじめ未然防止策に力を
- ⑥ スマイル教室と適応指導

教室の普及啓発を
⑦ 放課後子ども教室を東西南北すべての小学校地域に早期開設を

教育長

- ① 国の動向を踏まえ段階的に保護者負担軽減を図ります
- ② 一人ひとりを大切にした質の高い教育を維持発展させます
- ③ 実生活の中で規範意識を持って行動できるように取り組めます
- ④ 学校給食の一層の充実に努めます
- ⑤ 引き続きいじめの未然防止に全力で取り組みます
- ⑥ 全ての児童生徒が等しく希望する進路に進めるよう全力で取り組みます
- ⑦ 早期実現に向けて検討します

Q 七か村用水路下流域の冠水対策実施を
A 国補助事業の適用になれば早急に取り組み



田邊 信雄 議員

大泉消防署西側を流れる七か村用水路下流域は慢性的に冠水しています。この被害を改善するには、用水路幅の全体的拡幅が用水路上部の拡幅・かさ上げしかないと思います。

今後この用水路は、農薬用としてよりも町西部地域一帯の基幹的排水路としての役割がますます増大していくものと思います。遅かれ早かれ、必ずいつかは改修しなければならぬ箇所だと確信しています。安心・安全な町づくりのために、防災・安全交付金の活用なども検討していただき、早く改修に着手して欲しいと思います。町長の考えをお伺いします。

町長

私自身、冠水の最中に現地に赴き、現状については十分に把握しています。早期に冠水対策をしなくてはならないと考えていますので、今、国が行っている防災安全対策などの補助事業に本町も手を挙げ、適用されるようであれば、補正予算を組んでも、早急に拡幅またはかさ上げなど、一番良い方法で取り組んでいきたいと思っています。



太田市東矢島町の用水路

問 う !

Q 災害対策にドローンの導入を

A 導入に向けた調査研究を進めます



中尾 大助 議員

一歩前進させるためにもドローンの導入の考えはあるのか村山町長の考えをお伺いします。

町長

今年の4月、東京都が小型無人機ドローンを災害対策に活用するために実証実験を開始いたしました。県内では前橋市が災害時にドローンを利用して、被害状況を確認するために企業と協定を結んでいます。片品村でも昨年の暮れからドローンを運用しているとの報道を目にしています。墜落事故や空撮での個人情報流出などの課題もありますが、道路の使用が困難となるほどの大災害時には道路や建物、河川などインフラの被害状況はもとより人命救助にも有効に活用できると思います。

そこで本町の災害対策を

ドローンの導入につきましては、災害時に道路などが寸断された際の有効手段として「火の見やぐら」的な役割をするのではないかと、いう大きな期待をします。導入に関しては来年度にはしっかりと位置づけをしたいと考えています。

Q 通学路の総合的な安全対策は

A 通学路の安全点検を定期的に実施します



堀越 幸広 議員

みができると思います。安全な通学路を安心して通ってもらうため、将来、取り組むべき施策をお伺いします。

教育長

児童生徒が安全な通学をするためには、通学路の整備や効果的な防犯対策に尽きると思います。

防犯灯の有無や管理、通学路においては、樹木や雑草の繁茂などをよけることで道路へのはみ出しなど危険な状況をつくらず、また「子ども安全協力の家」がどこにあるのか明確にし、どういった助けが受けられるかなど、いろいろな取り組み

通学路の交通安全の確保について警察、道路管理者、学校などが一層連携を図り、通学路の合同安全点検を定期的の実施し情報共有を図り安全確保に努めます。

通学路の防犯灯設置や管理、樹木の伐採なども関係機関と確認します。また、「子ども安全協力の家」の周知については保護者に地図の配布や、教員が場所や役割を一層指導します。子どもたちの安全は学校と家庭、地域のボランティアの方々と連携し全力で取り組みます。



安全な通学路の維持を

町政を

Q 本町の財政運営をどのようにしていくのか
A 心を緩めることなく、厳しい視点で続けていく



都丸 裕史 議員

①現在の財政計画は、第5次大泉町総合計画の第7年次実施計画の最後に参考資料として掲載していますが、今後は公共施設や新焼却炉建設などの負担も発生してくる中で、住民サービスを提供し続けるために財政基盤の一つの指針となる財政計画のさらなる充実を要望します

②本町の財政は堅調に推移していますが、社会情勢の急激な変化、自然災害などが発生し、本町の財政に影響が及ぶ場合の対応についてどのように考えているのか質問します

財務部長

①公共施設マネジメントに伴う公共施設の扱いや新廃棄物処理施設の費用負担、社会保障費、資金調達や償還額の推計などの分析を行い検討させていただきます

町長

②本町は世界経済の状況が大きく影響する町であり、情勢によっては大きく税収も変わってきます。そのような中でも、今後、公共施設の老朽化対応などで莫大な費用がかかるの見込まれており、計画的に推進するためにも情報収集を行い、舵取りしていき、健全財政を堅持していきたいと考えています

議員のみなさんにインタビューしました！



■質問：議員報酬はいくらですか？

■答え：議員報酬月額

議 長	413,000 円
副議長	343,000 円
常任委員長	323,000 円
常任副委員長	308,000 円
議会運営委員長	323,000 円
議会運営副委員長	308,000 円
議員	303,000 円

■質問：退職金がありますか？

■答え：ありません

■質問：議員年金がありますか？

■答え：平成 23 年 6 月に廃止になりました

■質問：政務活動費はいくらですか？

■答え：年間 15 万円です

■質問：会議などでの昼食代金は出ますか？

■答え：飲食費は自費です

■質問：視察における宿泊施設は？

■答え：移動などを考慮したうえでビジネスホテルを選定しています

■質問：海外視察は行っていますか？

■答え：14 年前から行われていません

チェック！



総務文教常任委員会

Q 秘書課予算執行率が74・1%と低い要因はなぜですか。

A 予算の性質上、減額の補正ができないものが多いため、執行率が低くなっています。

Q 秘書課新聞広告料が前年度と比較し約9倍に増額となった要因と増額に伴う効果はなんですか。

A 情報発信量が増加したことにより、さまざまな事業での広告料が増えたからです。また、町のPRにもつながりました。

Q 職員研修事業費が前年度と比較して約半減されていますが要因はなぜですか。

A 研修会回数は増加していますが、町職員が講師を務めたり、講師への謝礼が比較的低額であったためです。

Q 電子複写機使用料が前年度と比較して減額している要因はなぜですか。

A データでの管理を推進し、紙の削減を行ったためです。

Q LED防犯灯器具設置については設置要件があるのですか。

A 設置に関しては行政区に希望調査を実施し区長と相談の上設置しています。また、設置間隔についての基準はありません。



夜間の安全を守る防犯灯

Q 東小泉駅前安全センター防犯コミュニケーション相談業務事業で相談内容の83%が休憩立ち寄りとなっているが、費用対効果はどのくらいありましたか。

A 相談内容の多くが休憩立ち寄りとなっていることにより、警備員がいることによつての犯罪抑止力もあります。さらに効果的な事業になるようにPDCAサイクルを回します。



東小泉駅前安全センター

Q 広域公共バス「あおぞら」の乗車人数が前年度と比較して減少してありますが、乗車人数が減少した要因と増加に向けた取り組みをお聞かせします。

A 乗降者へのアンケートを実施し運行時間の変更を行いました。結果的に乗車人数が減少しました。さらに調査研究を行い利用者増に向けた取り組みを実施します。



広域公共バス「あおぞら」

Q パブリックコメントに寄せられた意見が9案件中1件と非常に少ない状況となっていますがPRは行いましたか。

常任委員会 決算調査の主な内容

平成28年度決算を厳しく

Q 案件ごとに所管部署にてPRは実施していましたが、日程、設置場所などパブリックコメントの利用方法を見直し、今後より多くの町民の意見を集められるように努力します。

Q 広報発行事業費が前年度と比較して約136万円減額となった要因はなぜですか。

A 記事をより読みやすくするため所管部署で内容を精査しページ数の削減を行いました。



Q 協働のまちづくり人材バンク制度の利用件数が0件と活用されていませんが周知しましたか。

A 広報紙、町HPで周知し、各部署においても

活用を検討しています。また、この制度を利用せずに人材バンク登録者の方にご協力いただいている町民も多くいます。

Q 特別交付税返還金87万1000円とありますが交付金を返還する理由はなぜですか。

A 東日本大震災における交付税でリサイクルプラザ修繕終了に伴い返還しました。

Q 小規模修繕の町内業者の発注状況はどのくらいですか。

A 町内業者368社の登録がされています。3240円から約600万円の公共事業を発注しており、総額は約3000万円でした。

Q 各種税金、保険料の納付においてコンビニエンスストア利用者が増えています。口座振替とコンビニ納付では手数料の差額

が発生するのではないのでしょうか。

A 口座振替による納付手数料は10円、コンビニエンスストアによる納付手数料は61円となります。今後は口座振替に切り替えていただくようにPRします。

Q 小中学校の教育費にコンピュータ借上料とありますが詳細をお聞きします。

A 老朽化に伴う入れ替えで、小学校教師用155台、中学校生徒用に126台、タブレットタイプ15台を入れ替えました。

Q 小中学校におけるいじめの実態と防止対策の状況をお聞きます。

A 悪口を言われたという案件を3件確認し、解決しました。法令などの有識者を含む5名でいじめ問題調査委員会を設置し、いじめ対策の検討をしています。

Q 北中学校設置の太陽光発電システムの効果をお聞きます。

A 停電時の電気確保が可能となり災害発生時にも有効です。



北中学校の太陽光システム

Q 図書館において身体の障害などにより来館できない人への図書資料の宅配サービス事業を行っています。実績をお聞きます。

A 2名の方が合計8回の宅配サービスを利用しました。さらにPRし図書館利用促進をします。

民生産業常任委員会



チェック！

Q 生活就労支援事業とは具体的にどんな事業ですか。

A 生活困窮者への食料提供と無料の就労支援窓口を開設しました。

Q 子ども食堂の食物アレルギー対策についてお聞きします。

A チラシに使用している食品を表記しています。万が一の場合に備えて必ず町の保健師が会場に待機しています。

Q ひとり暮らし高齢者にひと声かける運動の費用が前年度より増額した理由と取り組み状況をお聞きします。

A 訪問対象者が増えたことが増額の理由です。具体的な取り組みについてはひとり暮らし高齢者の安否確認を月に一回以上老人

クラブに委託しています。

Q 本町の里親の現況についてお聞きします。

A 町内の里親として登録されている方は0人です。今後も里親制度普及のためのPRを行います。

Q 老人福祉センターの利用状況と今後の在り方についてお聞きします。

A 休館日が増えましたが、利用者数はここ数年と比べても横ばいです。



高齢者の憩いの場

老朽化に伴う修繕については優先順位をつけて対処します。

Q 空間放射線量の具体的な測定方法と数値管理についてお聞きします。

A 測定方法については指定場所の地表50cmと1mの高さで測定しています。基準値を超えるところはありません。また、雨水や落ち葉が溜まる場所が高い放射線量になる傾向があるため今後も数値管理をしっかりと行います。

Q 道路の小さなくぼみや側面の崩れなどをどのように把握していますか。



補修が必要な町道

A 職員によるパトロールや区長や住民からの情報提供によるものです。

Q 有害鳥獣対策事業の詳細をお聞きします。

A 有害鳥獣対策については、鳥による白菜の被害を防止する目的でネットを農作物にかぶせる際のネット代を助成するものです。なぜ白菜だけかと言いますとブランド化され、出荷量も多いからです。

Q 農地パトロールの回数、指導方法、効果についてお聞きします。

A 農地パトロールは随時実施しています。特に10月から11月までは強化月間であり、力を入れて行っています。指導方法については、農業委員の方がパトロールや戸別訪問、意向調査を実施しています。効果について、平成28年度は6000㎡の耕作放棄地が解消され、パトロールによる指導も解消に繋がった要因

常任委員会 決算調査の主な内容

平成28年度決算を厳しく

のひとつだと考えます。

Q 野犬及び飼い犬の処分数についてお聞きします。

A 群馬県動物愛護センターの東部出張所の管轄となっており、平成28年度の本町の処分数は9頭です。

Q 肺炎球菌ワクチンの接種状況と接種にかかる際の自己負担についてお聞きします。

A 接種に関しては町民の皆様は任意であり、接種率は前年度と比べて低下しています。自己負担については1回につき2000円となっています。

Q 太田市平日夜間診療所の町民の利用実績と本町から医師の派遣はあるのかお聞きします。

A 実績として町民が193人利用しています。本町からの医師の派遣は行っていません。



太田市平日夜間診療所

Q 町民一人あたりのごみの排出量と県内市町村と比較した状況をお聞きします。

A 平成27年度の一人当たりのごみの排出量は300・1kgです。内訳は、燃えるごみ271・4kg、燃えないごみ13kg、資源ご



ごみの削減に協力を！

み15・7kgとなっており、町全体のごみの排出量は県内35市町村の中で4番目に多く出ています。平成28年度のデータはまだ出ておりません。

Q 土地改良事業で小水力発電設備の建設場所の詳細と負担金算出根拠をお聞きします。

A 場所は太田市吉沢町に現在建設中です。構成自治体で資金を拠出し、面積によって金額が異なります。

Q 役場総合窓口業務における待合スペース利用性の向上のための要望の有無と通訳増員の検討をされたのかお聞きします。

A 今まで要望がなかったため、今後は通訳の増員も含め必要な場合は検討します。

Q よろず相談会で起業に繋がった例はありましたか。

A 相談件数は1件であり、起業には至りませんでした。



町民のための相談室

Q 消費生活相談の中で特別な相談内容に相談員が入った件数をお聞きします。

A 相談員が入った件数は把握しておりませんが、内容につきましては特殊詐欺や役場職員を語る詐欺などがありました。

Q 物産振興の取り組みとして本町では物産品や銘菓がないと思いますが、土産などの研究をされたかお聞きします。

A 現在、大泉高校に依頼して試作研究をお願いしているところです。

議会トピックス

神奈川県寒川町議会研修視察・町村議会広報研修会



神奈川県寒川町



東京都永田町

平成 29 年 9 月 27 日 (水) 議会広報編集委員会研修視察

神奈川県寒川町議会

研修内容：町民に読んでもらえる議会だよりについて

平成 29 年 9 月 28 日 (木) 平成 29 年度町村議会広報研修会

東京都永田町砂防会館

研修内容：議会広報編集にあたっての基礎について

参加者：議会広報編集委員会委員・事務局

お知らせ

次回の定例会は
12月12日(火)
 午前10時～
 予定しています
 お問い合わせ ☎63-3111
 内線412

みなさん議会傍聴に来てください

役場4階の議会傍聴受付にお越しく下さい。
 受付簿に住所・氏名・年齢をご記入いただくと傍聴
 できます。

議会日程は町ホームページでお知らせしています。

議会だより・会議録がホームページで見られます。

<http://www.town.oizumi.gunma.jp/>

編集後記

スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋などいろいろな秋が出てきますが、今年には「選挙の秋」、「政治の秋」といえる年となりました。先日に行われた衆議院選挙では選挙運動期間中にたくさん候補者が全国津々浦々で政策や思いを語っていましたが、新しく議員になられた方はぜひとも最初に語った思いや志を忘れずに国家のため、国民のために尽くしてもらいたいと思います。国民のために尽くすという点では我々町議会議員も一緒です。秋だけに町民の皆様から「飽きのこない町政」を常日頃から考え行動することを改めて誓った秋となりました。

中尾大助

■議会だより文責

【編集委員】
 議長 青木 満
 委員長 須田 敏彦
 副委員長 中尾 大助
 委員 堀 越 幸 広
 委員 川 島 幸 広
 委員 佐 藤 久 芳
 委員 塚 田 義 一
 委員 澁 木 茂

委員 堀 越 幸 広
 委員 川 島 幸 広
 委員 佐 藤 久 芳
 委員 塚 田 義 一
 委員 澁 木 茂



この広報紙は、自然保護のため再生紙とベジタブルインキを使用し作成しています。